

館の運営方針	「佐倉市立公民館活動計画」を基本として、臼井地区の自然、歴史、文化等の特徴を活かすとともに、地域住民が自主的に「集い」「学び」そして「伝えていく」活動を支援することで、市民の生涯学習と地域社会教育活動の中心としての役割を果たす施設を目指します。
ジャンルの目標	
すばなし、絵本の読み聞かせのほか、手遊び、わらべうたなどを通して幼児の豊かな感受性、創造性、好奇心を育むとともに、親子のふれあいの場を提供することを目的として事業を実施する。	

★個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
①	おはなし会	子供たち向けに、すばなしと絵本の読み聞かせ等によるおはなし会。本の世界に親しむとともに豊かな感受性を育むことを目的とした講座。
②	親子で楽しむ えほん・わらべうた	絵本の読み聞かせや手遊びで、温もりある親子関係を育むとともに参加者間のコミュニケーションを図る。

★ジャンル総合評価

個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般			
企画	企画段階での課題と解決策	A	A:各個別事業の想定課題は正しかった。 B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。 C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。 i:途中で変更した。 ii:そのまま進めた。
実施	実施しての課題と解決策	B	A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。 B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進んだ。 C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。 i:別の方向に進めた。 ii:そのまま進めた。
点検	点検しての課題と展望策	家庭教育の重要性から毎年継続している事業である。年々参加者が少なくなってきており、広報の方法等について工夫が必要と考える。	
改善	次年度への課題と展望策	B	A:事業拡大。 B:現状規模での継続。 C:事業縮小。 D:目的達成により終了。 E:統合・改善・その他 ()

総合評価		成果
A	事業規模 A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。 E:現段階では判断できない。	おはなし会で取り扱った図書についての貸出しもあり、読書推進の契機となっている。また、これからの実施予定である「親子で楽しむ えほん・わらべうた」についても、親子のふれあいの場、また、参加者同士の交流の場として貴重なものであると考える。
		課題 少子化の影響にともない、年々参加者が減少している。母親と子どもだけでなく、父親や祖父母などとの参加についても考える必要がある。

ジャンル	家庭教育
事例発表の事業	おはなし会

★公民館運営審議委員意見

委員①	
総合評価	A
<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼い子供を持つ家庭、その母親にとって、大変良い企画であると思います。是非、継続でお願いいたします。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの読書離れが激しい昨今において、小さなころから本の世界の面白さを伝える良い事業と思います。お話し会について、話し手について、近隣の高校にボランティアを募り、高校生も話し手に加えてみては、いかがでしょうか。生徒会や図書委員会などが、読み聞かせをやっている高校もあります。 ・また、市内の大学(敬愛短期大学など)は、読み聞かせの技法を、出前授業でやってくださっています。母親対象に、読み聞かせのやり方等の研修会なども企画もいかがでしょうか。 <p>是非、継続でお願いいたします。</p>	

委員②	
総合評価	B
<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の重要性から重要なジャンルであるが、事業数も少なく内容も単一的なので、多様な内容を組み合わせた事業が展開できればよい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対面式ではなく困んだり、椅子を準備したり、会場を薄暗くしてスポットライトを活用したり、BGMを流す、寝ながら天井に映像を映したり、独特の世界の中で話を聞ける雰囲気作りがあるとよい。 ・年齢別の開催すると内容が絞れる。 ・訪問活動はできないか。まとめの活動を会場でやったり、扱って欲しい本のリクエストを取ったり工夫があると良い。 ・男性の読み手や学生を活用してはどうか。 	

委員③	
総合評価	A
<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもにとって、お話し会や絵本は情操を養ううえで有効であるとする。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の子どもたちに必要なのは話すより「聞く」ことであるとする。そういう意味でお話し会はよい企画である。 	

委員④		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臼井公民館図書室と連携しながらの、すばなしや絵本の読み聞かせなどの事業内容は、幼児期における感受性などに大きな効果を与えられるものと感ぜず。 ・近年の少子高齢化や活字離れなどのなかで、工夫を重ねながら、事業を遂行されている様子が伺えました。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スマートフォンの普及により動画が簡単に楽しめる時代となりましたが、このような時代であるからこそ、本を通した親子の会話が大切と考えながら事業を進めておられるとのことでした。今後も、道具の老朽化などの課題に対応されながら進めていただければと思います。
総合評価	A	

委員⑤		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・館内に併設されている公民館を生かしたのとなっており本離れ対策にもなっています。是非継続を。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちを飽きさせない工夫に力を入れているのが見て取れました。 ・来場者数の減少に歯止めの対策としてチラシの工夫やポスター掲示増数、年間スケジュールの告知なども試してみたいかかでしょうか。
総合評価	A	

委員⑥		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化、共稼ぎ家庭の増加など社会構造の変化が進むと共に、労働市場の活況、女性の自己実現の場としての社会参加等により、子どもが幼児段階から保護者の手を離れる傾向が高まっています。また、母親が核家族化や地域社会の「崩壊」等により子育てにおいて悩みを抱え込み、孤立化する傾向が顕著になっています。 ・子育て支援においても、幼保一元化など新たな取り組みが進められていますが、その「場」での親子の触れ合いは少なく、子どもと共に親が成長する「場」としては十分ではありません。このような中で、特に絵本の読み聞かせを中心とした図書館や公民館による家庭教育事業は、低下が叫ばれて久しい家庭教育の学びの場として、重要な役割を果たしています。 ・臼井公民館では図書館との連携などにより2事業により家庭教育事業が実施されていますが、参加者の交流も深まるなど、子育て支援として大きな役割を果たしています。自らが暮らす地域社会に「友」が少ない、いないという環境の中で、公民館家庭教育事業は欠かすことができない貴重な場となっています。 ・少子化による参加者の減少が続いているとのことですが、健康管理センターや子育て担当部門、様々なボランティア団体等との連携もさらに深めるとともに、情報発信に工夫を加え、難しい課題ではありますが参加者の増加につなげるよう期待しています。 ・また、参加者の減少傾向は、確かに少子化が最大の要因だとは思いますが、駐車場不足の他に原因や理由がないのか、探っていただきたいと感じています。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの興味を引き付け、飽きさせないということには、大変な努力と工夫が必要だと思います。なぜならしりとりやテーブル人形劇などの工夫はとても素敵だと思います。子どもたちから「声」が上がらないように、子どもに知られていない本を選ぶということは、更に大変な努力が必要になるような気がします。 ・「文字なし絵本」や「落語の絵本」、「子ども向け落語」など、子どもの想像力を豊かにする「手段」等も注目されています。なによりも音楽ホール併設の公民館です。既に取り組まれていますがりトミックなども組み込みながら、「おはなし会」がより楽しく、充実していくことを期待しています。教室開催後には、関連絵本の紹介を行い、それが貸出しに繋がっていることから、「読書習慣づくり」や子どもの想像力養成の大きな力になっていると思います。 ・「すばなし」を始めとしてメニューをこなしていくには、人材の確保、育成も欠かせません。各団体や他の部署の協力を得ながら、わくわくするような時間を味わえる環境づくりを期待しています。
総合評価	A	

委員⑦		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の継続を希望します。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・素話や絵本読み聞かせその他催しの、基本から効果、図書室利用へと繋げる活動内容は「佐倉おはなしの会」の方々の素晴らしいご指導があつての事と思えます。 ・お母さんの膝の上でたくさんのお話し・物語に出会って頂きたいです。
総合評価	A	

委員⑧		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供から大人まで文字離れの傾向にある現在、幼児の時からすばなし、絵本の読み聞かせ、手遊び、わらべうた等を通して感受性、創造性、好奇心を育み読書習慣を身につけると共に、親子のふれあいの場を提供する目的としての事業は、子供達の将来に向けて大切な事業と考えられます。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳～成人について ・すばなし・絵本の読み聞かせ・パネルシアター・テーブル人形劇等により絵本、図書に親しみと関心を持たせ読書普及の貢献に努めていることに高く評価をします。 ・今後、紙芝居も組み入れたら如何でしょうか。 ・1歳半～3歳児と保護者についても今後の活動に期待します。
総合評価	A	

委員⑨		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育の場として、乳幼児と保護者が気軽に集える場が地域にあることは意義が大きい。密室育児にならないよう、少子化だからこそ継続して欲しい事業である。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵本の読み聞かせ、すばなし、パネルシアターと内容が充実しており、親子のふれあいの場、参加者同士の交流の場となっていることは評価したい。実際に参加されている方は、専業主婦なのか育児休暇を取っている方なのか、また祖父母が育児を託されているのか・・・少子化の子育ての実情を知り、具体策を考えてみるのも一つかと思う。 ・また、備品・小道具の修繕も、参加者の方とワークショップとして楽しめるようにできたら考える。
総合評価	B	

委員⑩		<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子でふれあう場を提供されており、絵本の読み聞かせなどを通して、子ども達の心を豊かにする教育の一環としてとらえられる。事業は内容の充実を図りながら、これからも継続して進めていただきたい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばなし・絵本の読み聞かせだけでなく、人形劇や紙芝居などバラエティにとんでおり、子ども達を飽きさせない内容になっている。 ・また、開始前になぞなぞやしりとりなどを実施し、特に幼児の緊張をほぐしてスムーズにおはなし会に入れる工夫がなされており、保護者も楽しみながら参加できる事業になっている。参加者を増やす工夫を考えながら継続してください。
総合評価	A	

委員⑪		総合評価 A	<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・0歳児半～3歳児親子遊び教室は、保護者と幼児のふれあいや保護者どうしの交流の場を提供する事業とし大変有意義な企画であると思います。この企画は、絵本の読み聞かせや手遊びを通じ、親子関係を育むことの重要性を認識することが出来ます。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育事業であるお話し会は、本の世界に親しみ、豊かな感性を育み、読書の魅力を伝えていく上でも大変有意義な企画です。読書のための本の種類や、すばなし会の備品の整備が急がれると思います。
総合評価			

委員⑫		総合評価 A	<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書室との関連を生かして事業を推進しているのがよい。 ・同じようにリズムや音楽を取り込んだ子供達への活動を開発されていくことも期待したい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会終了後、会で取り上げられた本の貸し出し状況がよいというのはうれしい。 ・ボランティアの発掘、協力依頼に尽力いただきたいが、幼稚園や小学校低学年担当の先生方への啓蒙活動をすすめてはどうか。
総合評価			

委員⑬		総合評価 B	<p>★ジャンルについて</p> <p>「おはなし会」 子供は聞く、話す、読む、書く、の順で学んでいると思うが、「人の話を聞く」「じっと聞く」等主眼として工夫し、継続してほしい。</p> <p>★事例発表の事業について(継続OKです)</p> <p>P6の「おはなし会」のお知らせについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5歳くらい～大人まで。申し込み不要、入場無料は、「申し込み要」と明示したほうが、申込者は増えると思います。どっちつかずは参加者も迷いがち。
総合評価			

委員⑭		総合評価 A	<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭内での親子のふれ合いは、減少傾向にあることから、こうした取り組みは、子どものメンタル育成のために重要で、さらに拡大すべき事業と思う。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者の減少傾向対策として「出前お話し会」のような試みを考えてよい。受け身の体制を変えることが大事。
総合評価			

委員⑮		総合評価 A	<p>★ジャンルについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活字離れが進んで少子化のなか、幼児教育に取り組むことは難しい事であるが、それを行えるのは公民館であると確信する。その意味からも地域のリーダーとなって取り組む必要がある。 ・今後も継続していただきたい。 <p>★事例発表の事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・すばなし、絵本の読み聞かせ以外に子供の興味を引く関連工夫がなされ、終了後の貸し出しが多くなっていることは成果の現れである。子供たちを飽きさせない工夫は素晴らしい。 ・来場者の減少が課題であるが継続すべきである。
総合評価			